

風鈴から鈴虫へ…晩夏の月明かりの下で、音と季節の移り変わりを感じます。越美山系砂防事務所では、今年度第2回目の里山探検隊や、砂防に関する専攻をしている大学生を対象としたキャンプ砂防を実施するなど、砂防や国土交通省の事業を理解していただくための活動を行いました。

上流域の生活に触れ、堰堤の役割を知る ～里山探検隊～

今年度第2回目の里山探検隊を8月6日に実施しました。今回は、揖斐川町坂内坂本(さかうちさかもと)地先の山の谷第1砂防堰堤において「呼び水式サイフォン排水装置」の開発実験等や「壁面魚道」などを見学しました。また「もろかの里」においては、プラストアートや手織りの工芸体験を行い、参加者の思うままに多様なデザインの作品が出来上がりました。徳山ダムにおいては、ダムの職員の方にご協力いただき、作業船に乗船してのダム湖やダム堤体内部など、一般の方の立ち入りが制限されている箇所についても見学していただきました。

参加者からは「排水技術が素晴らしい」「工芸体験が有意義だった」「徳山ダムの普段入れない場所に行けて期待通りだった」などの感想をいただきました。



小雨が混じるなか
山の谷第1砂防堰堤を見学



手織り体験に積極的に
取り組む参加者



徳山ダム堤体内部で説明を
熱心に聞き入る参加者

郷土を愛する児童生徒の育成を

揖斐川町に初めて勤務する教職員等を対象に、揖斐川町坂内川上(さかうちかわかみ)地先のナンノ谷において、現地講習が7月31日に開催されました。揖斐川町教育の大きな柱の一つである「郷土を愛する児童生徒の育成」を図るため、郷土の魅力

(揖斐川町の自然・文化・歴史等)を理解していただく事を目的としています。現地講習では、当事務所の三浦副所長から、揖斐川町の山河の美しさと自然の脅威について砂防の視点から説明すると共に、国土保全の重要性と将来の担い手が少ない現状について説明しました。



ナンノ谷で説明をする
三浦副所長

将来の砂防マンがやってきた ～キャンプ砂防 in 越美～

砂防に関する専攻をしている大学生等を対象として、崩壊地や砂防工事の現場を体験していただき、砂防に関して理解を深めていただくため「キャンプ砂防 in 越美」を毎年開催しています。今年度は4名の参加があり、8月18日から22日にわたって開催しました。期間中は砂防堰堤や根尾谷断層、土石流流下痕の見学に加え、猛禽類調査体験、丁張り設置や重機操作などの工事現場体験等を行っていただき、最終日にはキャンプ砂防を通して得た事を発表していただきました。大学生活ではなじみにくい実際の現場を自分の目で見て体験した事で、各学生毎にそれぞれ、砂防に関わる仕事に就いて国土の安全に貢献している姿を思い描く事ができたのではないのでしょうか。数年後の未来が楽しみです。



多数の堰堤を見学しました



重機操作体験の様子

中学生の職場体験学習に協力

本県市立糸貫中学校の「職場体験学習」に、本県市に本社がある(株)朝日工営が5名の中学生を受け入れました。「働くことの厳しさと喜びを体験」「社会人としてのマナーを身に付ける」「労働体験を通し、進路選択をより身近に感じさせ、自分自身の特性を知り、職業選択の参考にする」事を目的とした職場体験学習で、測量やCADでの図面作成等を体験し、8月8日の砂防現場視察では、当事務所の八草川山腹工事において安全帯の使用研修とモノレール乗車、大蔵谷第1堰堤工事において残存型梓運搬、またナンノ谷大崩壊地の見学等、砂防について学習をしました。礼儀正しく、挨拶がしっかりとできていました。



若い中学生はロープを
使って軽々と登ります



地すべり模型を用いて
村上技官が説明

台風11号 管内でも被害発生

8月は台風11号やその後の停滞前線による豪雨により、列島各地で土砂災害や洪水等による被害が多発しました。

当事務所管内でも、台風11号による豪雨により、小津（おづ）雨量観測所（当事務所所管）で8月10日14時～15時の1時間に71mmの非常に激しい雨量を観測しました。この豪雨により、本巢市根尾能郷（ねおのうごう）地先で流出した土砂が国道157号を塞ぎ、35世帯60人が一時孤立状態となりました。また、本巢市根尾大河原（ねおおおがわら）地先の下河原谷（しもかわらたに）では土石流が発生し国道157号を塞ぎ、現在でも根尾大河原の集落へは電気等の供給が止まっているなどの被害が発生しま



国道157号へ土砂が堆積



土石流の流下痕

根尾川出張所と合同安全パトロール

当事務所では事務所発注の工事等における安全衛生思想の高揚と啓発を図り、もって労働災害を防止し、工事等を安全に推進するために、事務所職員及び工事や業務の受注業者の技術者により、安全協議会を結成しています。協議会では、毎月1回現場安全協議会を開催し、各現場の安全パトロールを実施し、事故等の防止に向けて不安全作業等への是正事項や、他の工事にも参考となる推奨事項などを抽出し、自らが施工する現場に生かす活動をしています。

8月22日に行われた8月期の安全パトロールは、近隣の木曾川上流河川事務所根尾川出張所との合同パトロールとして実施し、また、整備局の事故調査関係担当者も参加して実施しました。

今後も、工事現場での事故ゼロを目標に、様々な活動に取り組んでいきます。



30名の工事関係者が集まり安全ミーティングを開催

揖斐川流域を巡りつつ ～スタンプラリー～

横山ダム50周年記念事業で「揖斐川流域スタンプラリー」を11月30日まで開催しています。徳山ダムから桑名市のはまぐりプラザまで、揖斐川流域の歴史や文化に触れる場所を、川の穏やかな流れの如く巡ってはいかがでしょうか。当事務所もスタンプを集めた方へのグッズ交換所となっています。



事務所のはのぼり旗が目印です

した。

また、工事現場でも被災が相次ぎ、揖斐川町坂内坂本（さかうちさかもと）地先の地谷（ちたに）第2砂防堰堤工事では、現場観測で総雨量432mm、時間最大雨量55mmの非常に激しい雨を観測し、雨による洪水により、平成23年9月に発生した土石流で堆積した土砂が再移動し、現場内が土砂で埋まるなど被害が発生しました。

湧谷では土砂流出を阻止

揖斐川町坂内川上（さかうちかわかみ）地先の湧谷（わくたに）では、台風11号による豪雨により土砂及び流木が流失しました。しかし、昭和63年9月に完成し平成22年10月に鋼製流木止めを設置した湧谷第1砂防堰堤で、土砂や流木を捕捉し下流への被害を未然に防ぎ、砂防施設の効果を発揮しました。



土砂・流木捕捉前 (H26. 7. 4撮影)



土砂・流木捕捉後 (鋼製流木止めが隠れています)

流木の捕捉機能をアップ！

土石流の発生時に土砂と共に流下する流木が、橋梁等を閉塞し後続流が氾濫し被害を拡大する恐れがあります。当事務所管内でも平成24年9月の台風16号による豪雨で発生したギラ谷の土石流で、下流の県道橋で流木による閉塞が発生し被害をもたらしました。



流木による橋梁閉塞

このような災害を防止するため、当事務所では既設堰堤の改築と併せ鋼製流木止めを設置し、流木の捕捉機能を高めるための工事を計画的に行っています。今年度は揖斐川流域の揖斐川町日坂（ひさか）地先の和佐谷（わさたに）第1砂防堰堤、同町東横山（ひがしよこやま）地先の矢中谷（やなかたに）第2砂防堰堤及び、根尾川流域の本巢市根尾西板屋（ねおにしいたや）地先の上葛谷（かみくずたに）砂防堰堤で機能アップの工事を行います。なお、揖斐川流域の流木対策工事は西濃建設㈱、根尾川流域は田中建設工業㈱が行います。



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp